

下妻市定例教育委員会（令和４年９月２６日）会議録

１．開催日時	令和４年９月２６日（月） 午後３時００分 開会 午後４時００分 閉会
２．開催場所	下妻市役所千代川庁舎 ２階 第二会議室
３．出席委員	教 育 長 中山 均 教育長職務代理者 齊藤 修一 委 員 青木 由美 委 員 赤荻 由美 委 員 山口 政志
４．委員以外 の出席者	教育部長 倉持 総男 教育部参事 圓崎 佳江 学校教育課長 國府田 聡 生涯学習課長 佐久間 秀樹 図書館兼公民館長 吉川 淳 学校教育課係長 北沢 祐一
５．議事録署名人	青木 明美委員
６．協議事項 及び研修	（１）各課からの諸般の報告について
７．議事の概要	
教育長	９月の定例の教育委員会を始めたいと思います。 本日の議事録署名人は青木委員にお願いします。
青木委員	はい。よろしくお願いします。
教育長	本日は、各課からの報告を中心に、委員の皆さんからのご意見等を 頂戴したいと思いますのでよろしくお願いしたいと思います。それ では、各課からの報告をお願いします。最初に指導課から。
参事	【指導課から資料により説明】 １【部活動改革について】 ○部活動改革に関する提言について

<p>教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動改革に関する提言（茨城県：５月１６日） ・運動部活動の地域移行に関する検討会の提言（スポーツ庁：６月６日） ・文化部活動の地域移行に関する検討会の提言（８月） <p>２【英語キャンプ事業について】</p> <p>○ブリティッシュヒルズでの英語研修について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・９月１７日～１９日（３日間実施） ・３中学校で３０名の生徒が参加 <p>○研修時の生徒の様子のスライドショー視聴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒たちの積極的な活動の様子、充実感、達成感の声 <p>はい、ありがとうございました。 続けて、学校教育課から、お願いします。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>【学校教育課から資料により説明】</p> <p>１【下妻市議会定例会の一般質問について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別教室のエアコンの整備について ・特別支援学級の現状と課題、スクールサポートセンターの関わり ・小中学校の給食費無償化について ・学校給食について（現状と課題、地産地消の取り組み、食物アレルギー、食べ残し残渣、給食費のコスト、調理員の熱中症対策、 ・教育現場での外国人の生徒児童への対応について ・義務教育期間の諸費用について <p>２【小中学校プール共同利用】</p> <p>○市立小中学校プール共同利用計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報しもつま掲載「シリーズ学校の未来を考える」 ※第１弾、市立小中学校の現在を掲載（８月号） ※第２弾 市立小中学校のプールの共同利用（１０月号） ・水泳実技授業の実施について
<p>教育長</p>	<p>はい、続きまして生涯学習課からお願いします。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>【資料により説明】</p> <p>○文化祭について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化祭への参加団体（４８団体）※コロナの影響で参加数減

教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・分散開催（博物館の企画展示室や千代川公民館）
図書館兼公民館長	<p>はい、続きまして図書館公民館からお願いします。</p> <p>【資料により説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公民館の利用状況について ○図書館のイベントについて <ul style="list-style-type: none"> ・本のリサイクルフェアについて ・雑誌の関してのリサイクルフェアについて ・雑誌の付録に関する抽選会について
教育長	<p>はい、ありがとうございました。最初に指導課から部活動の地域移行と中学生の英語キャンプについての報告がありましたが、それについて感想やご質問などいかがでしょうか。</p>
山口委員	<p>英語キャンプについてですが、生徒は、外国に行ったような感覚になったということですが、逆に、日本のことを紹介するようなシーンとか場面というのがあったのかなと想像しますが、外から見た日本の文化や日本の素晴らしさに改めて気づくとか、日本を外から見るいい機会にもなったんじゃないかなと思います、どうですか。</p>
参事	<p>そうですね。カリキュラムの中には、日本文化の体験というのは、今回は含まれてはおりませんでした。ただ子供達が外国に行ったような気分になって3日間、本当に英語をたくさん使いながら、施設のあらゆるところで、英語を使って過ごせたというところは、大変効果的だったかなと思っています。日本文化の学びについては、中学校の授業で、教科書の中で、日本の文化だったり、あるいは自分が住んでる市や県について、英語でプレゼンしたり発表したりするということがありますので、そういったところで、今回参加した子供達だけでなく、皆で振り返ってもらえる、考えてもらえる機会が設定出来るといいのかなと思っています。</p>
山口委員	<p>ありがとうございます。</p>
教育長	<p>赤萩委員さん、お願いします。</p>
赤萩委員	<p>こういう経験がどこかに繋がっていくのではと感じます。2年出来ま</p>

	<p>せんでしたが、今後も続けたいということです、是非すすめていただければと思います。</p> <p>部活動の改革については、9月20日に文部科学省大臣の定例記者会見の冒頭のあいさつで、茨城県の3つの学校を視察に行かれたということがありました。1つが守谷市の小学校、2つ目がつくば市の谷田部東中学校、3つ目が常総市の水海道中学校ということでした。守谷はICTとそれから働き方改革が進んでいると、こちらは2学期制を導入する時に守谷の教育委員会の方に視察に行かれたということも伺ってましたし、ICTのソフトを導入したお話も伺ったりしていましたので、そこは働き方改革についての視察、つくば市の谷田部東中については、部活動の地域化が進んでいる点について、実際にやられている方々とお話する機会を設けましたとおっしゃられていました。最後の水海道中については、夜間中学の件での視察だろうなと思いました。近くでそういうふうに進められているところがあると、私達も情報が得やすいです。また今後も、そういった情報に触れ、協力出来るところは協力したいなと思います。以上です。</p>
教育長	はい、ありがとうございます。
青木委員	<p>子ども達はどういう気持ちでいるのかということを思います。スケジュールは、どんどん進んでいきますが、ここに児童生徒と書いてあるので、小学生まで影響するのだと改めて思っています。中学校へ行ったら部活に入るという従来の流れとは違ってくる。子ども達の気持ちはどうなんだろうというのは気になります。土日運動をやりたくても、家庭の事情でできないような子もでてしまうのかなとも思います。小学生、中学生の子ども達に、一番良いようになればなと思います。</p>
参事	<p>教員の働き方改革とあわせて、やりたい子ども達が部活動が続けられる環境を作るというのが、この地域移行の狙いの一つです。例えば、現時点で千代川中学校のサッカー部と東部中のサッカー部は、部員数が揃わなくて、一緒に合同で練習しています。そういった仕組みを市全体で作っていくようなのが、部活動の地域移行の側面と捉えていただいてもいいのではないかと。つまり、単独だったら人数が少なくて廃部しなくてはならないというようなチームスポーツを、いくつかの学校で、一緒に練習場所を設定して、一つのチームを作っていくことによって、子供達にとってもやりたいスポーツが続けられる、教員にとっての利点もあるという方向を目指していきたいと。そこに地域の指導者が入る</p>

	<p>ことになります。地域の指導者がそれだけいるかというのはわからないので、もしかすると始まる部分では、教員が教員という立場ではなくて、兼職兼業の許可を得て、別な立場で謝金を得て、指導に当たるというような仕組みも一緒に動かしていく形になっていくことを想定しています。ですので、なるべくおっしゃったように、やりたいスポーツがあるのに皆なくなってしまうというのではなくて、いくつかまとめた1つになるものに関して、うまくチームを継続出来るような方向で進めていくことが方針の中にあります。</p>
青木委員	<p>よろしくお願いします。</p>
齊藤委員	<p>部活動に関しては、部活を通して子供と一生懸命向き合ってきたと思うので、それが段々、薄れていくのは寂しいかなという思いもあります。働き方改革と同時に、部活動についても、これからはスポーツだけではなく文化部の方でもそうなんです、レベルアップを図るためには専門性も必要だとは思いますが。レベルは上がっていったらいいなとは思いますが。</p>
教育長	<p>非常に難しいのは、平日は学校で部活動をやる、それは続けていく。そして、休日は今度、地域に移行する、クラブチームを立ち上げて、そこに子供が休日はクラブでやりますという形になる。2つを並行して進めていく必要がある、この学校部活動と地域部活動の両立が、難しいところです。そこをどちらも充実したものになるようにしていかななくてはならない。矛盾するところも出てくると思うので、よく検討して両立出来るよう、難しいですが取り組んでいきます。</p> <p>青木委員さんから出たように、実際、子ども達は、部活動に対してどういうふう考えているのかということも、今、保護者や児童生徒の意識について聞きましょうということで、すすめています。例えば、今の小学生は、休みは部活動はやらないという意識になっているかも知れません。平日だけで、学校でやっているだけで、十分です、休日は自分の時間を過ごしたいという考え方もあるかも知れません。保護者の方もどういうふう考えているのか、保護者や子ども達の考えというのを十分汲んでやっていければいいと考えています。会議を重ねて、検討していきたいと思えます。</p>
齊藤委員	<p>英語教育について、参加した子どもたちは、自分からの意思で申し込んだのでしょうか。保護者の進めなどもあるのですか。</p>

参事	何人かの参加されたお家の方から聞くと、本当に子ども自身が英語が好きでというような話を伺っています。お家の方も、もちろん関心が高く、お家の方が進められた方もいるかもしれないのですが、1人で申し込んでくれた子もいます。仲良しの友達が誰も申し込まなくても、1人で申し込んでくれた子もたくさんいたようです。
齊藤委員	そういうのはすごいですね。
参事	やっぱり言葉は必要感と使用頻度、両方が揃わないと成長しないというので、子供達がそこで必要感とか、使う楽しさとかを学んだので、あとは授業の中で、その使う必要性もあって、たくさん使える授業を計画して進めてもらえるように、そこを繋ぎたいなと思っています。
赤荻委員	先生がおっしゃるように、ずっと聞いているということが続けていると、聞き取れるようにもなるし、聞き取れれば話せるようにもなるのかなと思います。本当に是非、続けてほしいなと思います。
教育長	はい、では次いいですか。 学校教育課の方からの一般質問について、何かご質問ありますか。
山口委員	下妻小学校では、外国の方が多くて、他の地域からも車で送迎したりして、通われていた方が多かったです。保護者の方が、子どもから日本のことを学ぶことが多いと喜んでいる方もいました。
学校教育課長	下妻小を拠点とする外国人児童生徒支援員1名を配置し、日本語指導を必要とする児童生徒への主に言語面等のサポートを行いながら、更に保護者の相談にも対応して、入学転入手続きへの立会いや電話等による日常的な相談にも応じていくということで、こういったことを市独自で採用した職員がやっています。下妻小学校にそういう教職員を配置しているのですが、そういったことで、他学区からもいらっしゃっている方がいるのかなとも思います。
教育長	指導課からどうですか。
参事	下妻小学校に、こちらは市で配置したスペイン語とポルトガル語、英語が話せる通訳の方がいます。あとは教員で下妻小学校に2学級、日本語指導（国際教室）の教室、日本語の勉強に重点をおいた学級もありま

	<p>す。下妻中学校にも2学級、上妻小学校に1学級あります。あわせて、先ほどのNPO法人コモンズ、県のグローバルサポート事業というものがあります。日本語が全く喋れないで転入してくるお子さんとか、入学してくるお子さんもいらっしゃると思いますので、そこはピンポイントで、日本語の指導をしてくれる方について相談をすると、学校と直接のやりとりで、例えば、月に1回とか2回とか、その辺を実態に合わせながら一緒に勉強を見てくれる日本語の指導をしてくれる先生を派遣してくれたりもします。そういったことを実施しています。</p>
教育長	<p>一般質問にあった教育の経費についてはどうですか。</p>
青木委員	<p>本当に困窮して経費を支払えないような大変なご家庭には、補助の制度もありますよね。</p>
赤荻委員	<p>幼児の時期からの家庭環境の学力への影響ということを考えれば、その家庭環境をどうするかというほうに財政支出をする考え方もあると思います。例えば、幼児教育に係る費用を無償化していこうとか、まる福の特例の部分の部分は撤廃しているとか、学校教育に限定せずに、むしろ学校に入る前にも投資した方が、学力向上だけを見るといいんじゃないかということも考えてみるのが大事かと思います。そういう考え方からすると、支援、補助の仕方は、子育て支援課等と連携しながら、子育て世帯への支援という形をとることも考えられることだと思います。</p>
齊藤委員	<p>給食費の無償化については、近隣の市町村でも、やはりそういう動きは出てきていますか。</p>
教育部長	<p>無償化の話でいうと、恒常的にやっている無償化のところと、臨時的な無償化のところとあると思うんですね。というのは、今、ご存知のようにコロナ禍で、なおかつ物価の高騰というような状況があつて、生活者支援として国も財政投入しており、各市町村に交付金という形で降りてきています。そういった物価対策、生活者支援の政策を各市町村のメニューを考えてやりなさいということです。その中の1つの政策として、給食費を取り扱うというのは1つの例です。ただ、その原資ですとやり続けることが出来ないの、臨時的にやった自治体も、その後恒常的なものに舵を切っていくのかどうかはわかりません。また、本市では、すでに、給食費に一部、補助的なものも入れているので、何とか、</p>

	<p>今は値上げしない努力ができていますが、実際のところ経費はかかっているの、市の負担は実は従来より増えてきています。一時的に無償化した後、もう1回、今度は、給食費を徴収するようになるのは大変だと思います。また、教育全般を考えた時に、給食費に充てる高額な費用を、違う施策に充てられる。例えば老朽化した給食施設とか。どういう施策を選択するかというところだと思います。</p>
教育長	<p>3つ目の施設設備についてですね。具体的には、エアコン、プール、今、取り上げられた給食室等を含めて何か聞きたいこととか、ご感想とか、ご意見でも結構です。</p>
齊藤委員	<p>高道祖小学校に行くことがあって、お手洗いをみました。子ども達のお手洗いを見て、すごく綺麗になっていて感動しました。</p>
赤荻委員	<p>施設に関しては、特にプールにしても、その他、校舎にしても計画的に市の方で進めているので、子ども達のためにありがたく思っています。騰波ノ江小学校のプールも、やはり老朽化していて、大変だと思うんですけども、ここまで進めていただいたので、子ども達のために是非、この計画は進めていただけたらと思います。よろしくお願いします。</p>
教育長	<p>騰波ノ江小のプールの件は。</p>
学校教育課長	<p>そうですね。高道祖と騰波ノ江と総上の3校は、老朽化の状況で、時期を見て、共同利用に移行しますということだったのですが、現在の状況では、時期が早まるのかなということで検討しています。</p>
教育長	<p>では、次でよろしいですか。生涯学習課と図書館公民館からありましたイベント関係ですね。何かございましたら、お願いします。</p>
青木委員	<p>図書館の色々なイベントを毎回毎回、工夫して考えてもらって本当に大変だなと思います。夏もさまざまなことを企画してやっていただいて、今度は、文化祭ですね。コロナの中ですが、うまく進んで終わることを祈っています。よろしくお願いします。</p>
教育長	<p>私からいいですか。図書館のお話し会、夏休みにやりましたよね。その状況を教えていただければと思います。</p>

図書館兼公民館長	<p>恐〜いお話し会ということで、夏の企画を行いました。15組の限定という形で募集をかけさせていただきましたが、当日はキャンセルなどもありまして13組の参加でした。お子様と保護者の皆様、参加していただきました。図書館職員、工夫を凝らしまして、図書館の閲覧室の広いスペースをそういう雰囲気に仕立てまして、照明を落としながら、若干の明かりをともして話を聞いていただくという形で行いました。また、その導入としまして、光の落ちた書架、本棚のスペースをランタンを持って歩いてもらいました。その後お話し会という形式で行いました。案内のチラシは、かわらしい感じのチラシだったんですが、実際、ふたを開けてみたら非常に恐かったということでございまして、とても好評でした。</p>
青木委員	<p>大成功ですね。</p>
教育長	<p>その他、よろしいでしょうか。</p>
齊藤委員	<p>文化祭に関しては、2年間、開催してなかったということで。場所を分散してとか、新たな場所とかで開いてくださって、本当に努力しているのはすごくよくわかります。よろしくお願いします。</p>
教育長	<p>では、他はよろしいですか。 その他の方に移りたいと思います。事務局からありますか。</p>
学校教育課長	<p>【事務局から報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員の学校訪問について ・次回の定例会の日程について
教育長	<p>では、よろしいですか。 以上で、定例の教育委員会を閉じたいと思います。ありがとうございました。</p>